

みのり句会

兼題 『青葡萄 (あおぶどう)』

〔選と評〕 ホトトギス同人 福島 テツ子

青ぶだうゆつくり熟し甘み増す 白木 弘子

(評) ほの暗き葡萄棚に包まれてゆつくりと熟成しおいしい

果実となる自然の恵みの風景 くり返し読みたくなる秀句

◇あをぶだう葉も実も同じ色が好き 秋草 君枝 (あいうえお順)

◇竹の香や流しそうめん昼の膳 石川 れい子

◇青ぶだう並んで並ぶ一面に 江刺 厚子

◇夜の川静寂のなかで舞ふ螢 小野瀬 俊江

◇青ぶだうゆつくり熟せ袋がけ 瓦崎 八重子

◇今年また軒先たわわ青ぶだう 菅野 信子

◇青葡萄さし込む光なを青く 後藤 田鶴子

◇青葡萄実りの時を待つ日和 田中 弘子

◇青葡萄ひとしづく落ち土の中 富田 晴成 (高一)

◇青ぶだう奏でる風の流れをり 中村 くみ子

◇しんけんにしないでわってメロンわり 中山 颯 (小三)

◇雷鳴を遠くに聞きて雨を知る 野口 貴美子

◇青葡萄みを固くして刻を待つ 榎 卓

◇あをあをと色瑞々し青葡萄 福島 テツ子

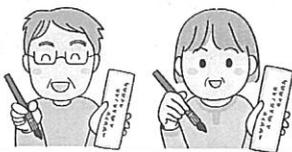
九月の兼題は、「秋の海」です。

一人三句ですが、兼題二句、他の季語で一句作ってください。

投句の方は、全句を書いた紙一枚、短冊に一句ずつ、百十円切手

三枚(参加費)、返信用封筒(百十円切手と記名)を同封して月末迄に

「事務局」に届くようにお送りください。



「支え合う会 みのり」の歩み

一九八三年「稲城の老後を支える会」として発足

一九八四年 会食会サービスをスタート

一九八九年「稲城の老後を支え合う会」と改称
毎日型の配食(夕食)サービスを開始

二〇〇〇年四月 特定非営利活動法人
支え合う会 みのりと改称

二〇〇二年 稲城市委託事業
高齢者食生活改善事業を開始

二〇〇三年 稲城市委託事業
かがやき倶楽部みのりを開始

二〇一二年 居場所作り「カフェいしださんち」を移行
二〇一五年 総合事業に移行

二〇一六年 他機関との地域社会づくり連携事業開始

二〇一九年 東長沼に活動拠点を移転

二〇二五年 ホームページ開設

「現在の活動」

◎配食サービス

(東長沼の拠点で週5回 月々金)

◎会食会サービス・クッキングクラブ梨穂
(公共施設等 9会場で開催)

◎ミニデイサービス『たまりば』

◎稲城市委託事業(高齢者食生活改善事業)

◎訪問サービス

◎居場所作り「カフェいしださんち」

◎介護予防・日常生活支援総合事業A
かがやき倶楽部みのり

◎他機関との連携事業

◎広報活動(会報・ホームページ・ブログ)など

この法人は、高齢者の福祉を自分の問題として考え、支え合いの精神で、在宅福祉活動を行い、支える者と支えられる者が対等な立場を保ち、住み慣れた地域に安心して、生き生きと住み続けられる地域社会づくりに寄与することを目的とします。